

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	ADLの低下がみられる利用者様が増えてきている中で、死角や段差が多い事での事故のリスクは高くなっている。また、リスクに対しての職員の危機管理が比例出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・推測出来る事故は起こさない。 ・リスクマネジメントの強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの有効活用(いつ・どこで・どのように)を明確にして、統計を取り、職員間で周知する事。 ・リスクマネジメントの担当者を主として、会議等での話し合いの場を設ける。 	3ヶ月
2	35	いつ起こりうるかもしれない災害に対して、訓練の内容が定番化してきている。職員全員が訓練に参加出来ていない。訓練中でのロスタイムとなっている時間があり、シュミレーションをしても避難に掛かる確実な時間の把握が難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な災害を考慮し、それぞれの避難方法が確立される事。 ・ロスタイムの解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数でも安全に避難介助が出来る方法の習得。 ・防災訓練に参加出来なかった職員への後日対応。 ・効率良く避難出来る方法を学ぶ為の消防署への相談。 	3ヶ月
3	5	地域の民生委員の方や地域包括の方々との関わりは以前よりも増えているが、市の介護保険課など、市の担当者との関わりがまだまだ少ない事。	<ul style="list-style-type: none"> ・市の担当者へ継続的な関わりを行い、交流を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、運営推進会議への参加をお願いする。まずは5月の会議から声を掛けさせて頂く。 ・積極的な訪問をし、情報交換や相談をさせて頂く。 	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。